

望ましい学長像

令和8年3月23日
広島大学学長選考・監察会議

学長候補者の選考は、人格が高潔で、学識が優れ、大学における教育・研究・社会貢献活動を当該学長候補者が示すビジョンに沿って適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者のうちから行うものとする。(広島大学長選考規則第5条)

1. 教学理念と使命の実行

広島大学の教学理念および使命（ミッション）を再確認し、アジア太平洋地域に立脚する日本の大学として、国際相互理解と多文化共生を大学の根幹的価値として実行する。

2. 学術的使命と人材育成

理念5原則に基づき、人類の未来に資する普遍的価値の創造と人類的諸課題の解明を総合研究大学として推進するとともに、これらを担う高度な知と倫理を備えた人材を育成する。

3. 社会的役割の遂行

全キャンパスにおける教育・研究・社会貢献および文化・スポーツ活動を通じて、地域社会との信頼関係を深化させるとともに、国際社会に開かれた学園としての社会的役割を果たす。

4. ビジョンに基づく大学経営

理念5原則の実現に向けて大学の将来像を明示し、具体的な目標を掲げてこれを達成するための基本的な方針を定め、当該方針に基づき、適切なガバナンス体制の下、経営者としての視点を持って、デジタル技術を活用しつつ戦略的かつ一体的な大学経営を行う。

5. 組織運営

組織の長として、意思決定と執行の仕組みの明確化、経営幹部の配置や責任体制の整備を通して、基本方針が着実に実行に移せるよう組織運営を行う。

6. 持続的発展の展望

将来の大学経営を担う人材および大学運営を支える教職員の育成・確保を、国際的視野を持って進めるとともに、積極的にイノベーションを促しつつ、安定した財政基盤の確立と戦略的な資源配分を行い、改革を通じた大学の持続的発展を支える。